

2021年台日国際美術交流

～日本統治時代からの芸術交流をつなぐための東アジアに
おける芸術国際交流プロジェクト～

主催：台南応用科技大学美術学部

共催：台南応用科技大学研究発展部国際交流センター

プロジェクトオーガナイザー：Chin-Fu Huang

共同プロジェクトオーガナイザー：Cheng-Chu Weng

メンバー：Peir-Shyan Xiao、Sheng-Hua Cheng、Sheng-Hua Cheng、Keitaro Yazaki、Saori Baba、Yi-Ting Tsai

1.プロジェクトの概要

1) プロジェクト名

2021年台日国際美術交流——日本統治時代からの芸術交流をつなぐための東アジアにおける芸術国際交流プロジェクト

2) 実施期間：

2021年9月から2022 年3月まで

3) メンバー：

プロジェクト主催者：Chin-Fu Huang

共同プロジェクトオーガナイザー：Cheng-Chu Weng

メンバー：Peir-Shyan Xiao、Sheng-Hua Cheng、Wan-Zhe u、Keitaro Yazaki, Saori Baba, Yi-Ting Tsai

4) 参加団体：

台南応用科技大学美術学部、台南応用科技大学研究発展部国際交流センター、九州産業大学、秋田公立美術大学、大阪成蹊大学

2.コンセプト

「2021年台日国際美術交流～日本統治時代からの芸術交流をつなぐための東アジアにおける芸術国際交流プロジェクト～」は、台湾と日本の現代アートの国際交流プロジェクトです。このプロジェクトは「台湾と日本の美術交流セミナー」と「台湾と日本の現代美術交流展、学生インターンシップ協力交流プログラム」から構成されています。このプロジ

ェクトの目的は、台日双方がアートを通して、お互いに学び国際交流を行う土台を作り、将来の芸術発展のための新しい方向性を模索することです。

台日の美術交流は、日本統治下初期に、日本で行われた写真展「台湾展」（台湾美術展）、「総督展」（総督展）などから始まりました。また1980年から1990年代にかけて、日本留学から帰国した台湾人が、台湾教育界に多大な影響を与えました。現代まで美術界では様々な台日国際交流が行われています。この長期的な台日国際交流の友情と歴史は、近現代美術史において、またこれからの台日芸術発展において重要な要素のひとつです。

2019年に発生した新型コロナウイルスの流行により、世界中の人々は生活における様々な場面で、急激な変化を求められました。そして、アフターコロナの時代を考えると、地理的に近い台湾と日本は、政治的、社会的、経済的側面において様々な問題を共有することになるでしょう。新型コロナウイルスの流行により、人と人との直接の接触避けるため、職場、学校をはじめとして、様々な場所でオンライン化が促進されました。人々が直接会う機会が極端に減ったことで、社会から孤立してしまう人たちが多く出てきました。これからのアフターコロナの時代、台日現代美術交流による芸術発展の促進は、このような人々をアートの力を通して孤立化から救う重要な糸口となるでしょう。

また、このプロジェクトは芸術交流だけでなく、社会環境や生産システムにおける現象学的研究も含まれます。台湾と日本の文化的類似点を通して、どのように影響を与えているのかを研究することで、台日双方の地政学、商業メカニズム、都市生活など分野においても理解が深められます。

3. プログラム

1) 消えゆく風景：東アジアのイメージから見た物体との関係（オンラインセミナー）

写真は、光学的な映像を可視的な画像として固定するものです。フランスの哲学者のロラン・バルトは、著書『明るい部屋 写真についての覚書』で、“現象学的方法によって、写真の本質・ノエマ（それはかつてあった）ということ”を証明しようとしていました。写真は、その被写体が「かつて存在した」という証拠ですが、すでに消えて無くなった過去の記録でもあります。

このセミナーでは、「消えゆく風景」をテーマに、画像作品と研究を行っている台湾と日本の学者を招き、画像作品を通して彼らが住む東アジアの社会文化について「消滅」をテーマにディスカッションします。

「東アジアで撮影された写真から“物体”について考える」

記録するという特徴を持つ写真は、今まで事象を“残す”道具として使われてきました。このセミナーでは、台湾と日本の学者や芸術家は、自身の作品の紹介、ディスカッションを通して、更なる作品理解をはじめ、写真撮影、加工技術の促進と、これからの画像作品の在り方について考察します。

A.アカデミックホスト：Peir-Shyan Xiao、Sheng-Hua Cheng、Saori Baba

B.ゲストスピーカー：

台湾—Chih-Chuan Kao（九州産業大学美術学博士、銘傳大學商業デザイン学部長）

台湾—Chih-Wei Wen（国立台中科技大学商業デザイン学部長、大阪芸術大学芸術文化博士）

日本—百瀬俊哉（九州産業大学教授）

C.日付：2021年10月8日（金）

D.アジェンダ：

| 2021年10月8日（金） | | |
|------------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 第1回セミナー：消えゆく光景：東アジアのイメージから見た物体との関係 | | |
| 9:00 – 9:05（JST:日本時間）受付 | | |
| セミナー 1 | | |
| 9:05 – 9:10 (JST) | 挨拶 | Chin-Fu Huang 教授 (台南応用科技大学美術学部長) |
| 9:10 – 11:10 (JST) | トピック：廃墟の街の夜景にみる侘び寂びの美学 | 司会：Saori, Baba 教授 講演者 百瀬俊哉教授 |
| 11:10 – 11:40 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッション | 司会：Chin-Fu Huang 教授 |
| セミナー 2 | | |
| 11:40 – 13:40 (JST) | トピック：“Private Landscape”イメージがライトペインティングになる | 司会：Sheng-Hua Cheng 教授 講演者: Chih-Chuan Kao 教授 |
| 休憩 | | |
| 15:00 – 15:30 | 講演者、参加者全員によるディスカッション | 司会：Chin-Fu Huang 教授 |

| | | |
|------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------|
| (JST) | ン | |
| セミナー 3 | | |
| 15:30 – 17:30 (JST) | トピック："風景写真の社会的および文化的 影響 – 金門島の事例研究 | 司会：Peir-Shyan Xiao 教授 講演者: Chih-Wei Wen 教授 |
| 17:30 – 18:00 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッショ ン | 司会：Chin-Fu Huang 教授 |

2) 台湾と日本の美術教育の過去と未来（オンラインセミナー）

このセミナーでは、東アジアの国際芸術交流、特に台湾と日本の国際芸術交流と教育の過去と現代を考察します。台湾と日本のあいだには、何世紀にもわたる豊かな文化交流の歴史があります。このセミナーは、美術史発展の研究向上と、今後の芸術に対する多文化的な視点の拡大を期待するものです。

本セミナーでは、国際的な芸術交流に優れた経験をもつアーティストであり、キュレーターでもある Dar-Kuen Wu 氏（台湾）をお招きします。また、日本から2人の研究者をお招きします。秋田公立美術大学の尾澤勇教授と、鈴木恵可氏です。尾澤勇教授は、日本の金属工芸と産業美術教育を専門として、優れた美術教育カリキュラムを持っています。鈴木恵可氏は、現在、中央研究院（アカデミア・シニカ）歴史語言研究所の博士研究員として活躍されています。本セミナーでは、台湾と日本の研究者を招き、異なるタイプの美術教育についての経験を共有する3つのセッションが実施されます。

A.アカデミックホスト：Sheng-Hua Cheng、Sheng-Hua Cheng、Keitaro Yazaki

B.ゲストスピーカー：

台湾—Dar-Kuen Wu（台湾現代文化実験センター・シニアキュレーター）

日本—鈴木恵可（中央研究院（アカデミア・シニカ）歴史語言研究所博士後期課程研究員）

日本—尾澤 勇（秋田公立美術大学教授）

C.日付：2021年10月15日（金）

D.アジェンダ：

| |
|---------------------------------------|
| 2021年10月15日（金）. |
| 第2回セミナー：クロスボーダー・トランスレーション—台日芸術交流の国際経験 |

| | | |
|---------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------|
| 9:00 – 9:05 (JST:日本時間) 受付 | | |
| セミナー 1 | | |
| 9:05 – 9:10 (JST) | 挨拶 | Chin-Fu Huang 教授 (台南応用科技大学美術学部長) |
| 9:10 – 11:10 (JST) | トピック： 台湾と日本のつながり、同盟、行動、脱植 民地化の進展 | 司会：Prof. Sheng-Hua Cheng 講演者 Dar-Kuen Wu |
| 11:10 – 11:40 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッショ ン | 司会：Prof. Chin-Fu Huang |
| セミナー 2 | | |
| 11:40 – 13:40 (JST) | トピック：近代台湾と日本の彫刻史につい ての研究とフィールドワーク | 司会：Prof. Sheng-Hua Cheng 講演者: 鈴木恵可 |
| 休憩 | | |
| 15:00 – 15:30 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッショ ン | 司会：Prof. Chin-Fu Huang |
| セミナー 3 | | |
| 15:30 – 17:30 (JST) | トピック： 職人の育成 | 司会：Prof. Keitaro Yazaki 講演者: Prof. 尾澤 勇 |
| 17:30 – 18:00 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッショ ン | 司会：Prof. Chin-Fu Huang |

3) 東アジア地理、政治を通して台湾と日本の現代美術交流の未来を考える（オンラインセミナー）

このセミナーでは「台日現代美術交流の構想」をテーマに、コロナ禍での台湾と日本の現代美術の発展について考えます。これからの台湾と日本の現代美術交流は、コロナ禍の社会の変化に対応することが求められています。台湾と日本の学者がお互いの研究を共有することで、こらからの研究に役立てることを目標とします。

大阪成蹊大学の熊倉一紗教授に日本の現代美術研究について、また、秋田公立美術大学の岩井成昭教授には、アートプロジェクト IMM（東京移民博物館）について講演して頂きます。さらに、京都大学をご卒業された Pai Shih-Ming 国立台湾師範大学日本美術学部長をお招きし、アーティストグループの異文化主義の現代的な重要性に対する台湾と日本の芸術のマルチメディア素材作成の視点から台日芸術交流について考えます。

A.アカデミックホスト：Chin-Fu Huang、Cheng-Chu Weng、Yi-Ting Tsai

B.ゲストスピーカー：

台湾— Shih-Ming Pai 教授 (国立台湾師範大学)

日本— 熊倉一紗教授 (大阪成蹊大学)

日本— 岩井成昭教授 (秋田公立美術大学教授)

C.日付：2021年10月22日/29日 (金)

D.アジェンダ

| 2021年10月22日 (金) | | |
|------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------|
| 第3回セミナー：東アジア地理、政治を通して台湾と日本の現代美術交流の未来を考える | | |
| 8:00 – 8:05 受付 | | |
| セミナー 1 | | |
| 9:05 – 9:10 (JST) | 挨拶 | Chin-Fu Huang 教授 (台南応用科技大学美術学部長) |
| 9:10 – 11:10 (JST) | トピック： 日本の現代美術 | 司会：Prof. Yi-Ting, Tsai 講演：Prof. 熊倉一紗 |
| 11:10 – 11:40 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッション | 司会：Prof. Chin-Fu Huang |
| セミナー 2 | | |
| 11:40 – 13:40 (JST) | トピック： 他者を受け入れる：東京移民博物館プロジェクト | 司会：Prof. Cheng-Chu Weng 講演者: Prof. 岩井成昭 |
| 休憩 | | |
| 15:00 – 15:30 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッション | 司会：Prof. Chin-Fu Huang |
| セミナー 3 | | |
| 10月29日 15:30 – 17:30 (JST) | トピック： 日本の美術教育: 台湾人学生との異文化交流 | 司会：Prof. Chin-Fu Huang 講演者: Prof. Shih-Ming Pai |
| 17:30 – 18:00 (JST) | 講演者、参加者全員によるディスカッション | 司会：Prof. Chin-Fu Huang |